



す。農林水産業の活性化なくして、市の発展はあり得ないと思っております。

しかし、第一次産業を取り巻く環境は極めて厳しいのも事実です。他の地域や自治体と同じようなことをしていても活性化は望めないと思っております。国東市には、全国一の乾しいたけや太刀魚がありますし、豊後牛や車エビ、タコあるいはミニトマトやネギ、米等全国レベルでも十分通用し、競争できるすばらしい食材を生産しています。七島イや花き等の特色ある園芸作物の作付けも行われています。要は、これらの作物を、いかに加工したり、ブランド化したりして付加価値をつけ

て販売できるかであり、生産者の所得が向上し、暮らしが良くなれば、おのずと後継者もできると思います。そのため、の宣伝や販路の開拓等についても生産者の皆さんや関係団体の方々の対話行政をすすめる中で、創意工夫をしていきたいと思っております。

次に商業ですが、隣の豊後高田市が「昭和の街づくり」で、商店街や市の活性化を図っています。これは物を買ってくれる人を市の外から連れてくる手法で、少子化や人口の減少等に悩む地域にとっては有効な手段です。国東市でも国東の特産品である海の幸、山の幸を扱っている『道の駅くにしき』が活況を呈していますし、独自の商品開発や、土曜の朝市の企画等、企業努力も大切になってきています。市としても、商工会を通して商業の発展のために、努力していきます。

工業については、世界のブランドのソニーやキヤノンの大分工場や、関連工場がたくさん操業しています。市として、これらの工場に協力できることは、積極的に協力をし、地元の若い人や、地元出身のUターン、Iターンの方々の雇用についてお願いをしていきたいと考えております。

また、現在旧安岐町のみで運用しているケーブルテレビについても、公平を期するためにも、随時市内全域に

広がっていきます。

安心して暮らせる 思いやりのある福祉を

国東市は、33・9%と高齢化率が県内でも高くなっていますが、高齢ということをマイナス要因として捉えるのではなく、高齢者の方々の経験や、知識が生かされた地域社会を創造していく必要があると思っております。そのため、ほんの少しのお手伝いが福祉でできればとの思いから、福祉バスの充実や、デイサービス、訪問看護の充実に努めてまいります。老人クラブの皆さん方も話し合い、情報の共有化を図り、少しでも皆様のご要望に応えられるように努力をしていきたいと思っております。

また、地域の宝である、子どもが健全に育つように、青少年の健全育成活動で地域のふれあいの場をつくり、放課後児童クラブや子育て支援の充実、スクールバスの導入等、児童福祉にも積極的に取り組んでいきたいと思っております。

住宅環境や生活環境の整備を図り、 定住対策を推進します

地域社会に希望と活力を与えるためにも、若者の定住促進は、大切だと考